

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY神戸本校				公表日	2026年 3月 3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	柵を置いたり、机の向きなどを工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	子どもの数や、トイレ介助などの仕事量に対し、職員の数が少ないと感じることがある。足りない時もあるが他校からのヘルプや、話し合いをしながらカリキュラムを決めている。	職員体制につきましては、安全を最優先に配置を行っております。必要に応じて他校からの応援体制も活用し、利用人数や活動内容に応じた体制を整えてまいります。また、事前の打ち合わせや役割分担を徹底し、安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	今後モンテッソーリを実施する際は柵の配置など、試行錯誤しながら教室内の環境を整えていきたい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	周りの掃除をしている。	トイレが室内にない点につきましてはご不便をおかけしておりますが、移動時の安全確認や見守りを徹底しております。また、日々の清掃や環境整備にも努め、安心して過ごしていただける環境づくりに継続してまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	個室に出来るような箇所が、玄関前もしくは事務所だが、清潔感を今後も追求して行きたい。	今後、パーティションを導入するなど工夫しながら進めていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	風通しの良い教室を作りたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	職員で共有して今はできている。	保護者向け評価表でいただいたご意見を職員間で共有するだけでなく、改善内容を明確にし、結果についても分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		ミーティングの機会を設け、職員間で情報共有を行いながら、より良い支援につなげられるよう努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部の方から評価のお話を伺えてないので、今後検討していきたい。	現在は、実施できておりませんが必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2	今後も、作成後に共有を行っていきます。	今後も、計画内容の共有を行いながら計画に沿った支援を行っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		活動プログラムの立案については、引き続きチームでの話し合いを大切にしながら進めています。今後は振り返りの機会もより充実させ、実施後の評価を次の計画に活かすことで、より質の高いプログラムづくりに努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		活動プログラムが固定化しないよう、定期的に見直しや振り返りを行ってまいります。お子さまの発達状況や興味関心に応じて新しい活動も取り入れながら、柔軟で充実したプログラムづくりに努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3	個別対応の場面では十分な話し合いの時間が取れないこともあるため、今後は記録や報告をより丁寧に行い、職員間での共有を一層大切にしてまいります。	今後は、個別対応時の内容についても確実に共有できるよう、記録や報告の徹底、情報共有の時間の確保に努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	一部の職員からは随時相談があり状況の把握はできておりますが、うまくいった日の振り返りについては十分に時間を取れないこともあります。	当日に共有することもあります。翌日の朝に改めて話し合う機会を設け、より丁寧に振り返りができるよう努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	ご相談を保護者の方からあれば行います。こちらからのアプローチはないが、要望があった時はおこなっている	今後は、対象児童がいた際には学校との連携を図っていきます。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2		現在は、地域の児童発達支援センターとの連携が行えていないため必要に応じて連携を図っていきます。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		現在は、保育所等の交流の機会はないですが 今後は、ニーズなどに応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	個別支援計画を元に、できたことや課題で取り 組んでいることをお伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こ どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保 護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい るか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。	4	0		今後も、定期的に茶話会などを実施し保護者さ ま同士の交流機会を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を 整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れが あった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保 護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	2	2		現在は、行えていないため今後は地域との連 携に関しても検討していきます。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知す るとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備 え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確 認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。	2	2	現在、飲食物の提供がないが、今後提供する 機会が、発生する可能性があるため、アレル ギーのあるお子さんの情報の共有と対応を今 後もしていきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必 要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われ ているか。	4	0		

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		今後も、ヒヤリハット等が発生した際には速やかに職員間で共有し、早急に話し合いの機会を設けてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		虐待防止のため、定期的に研修の機会を確保し、職員の理解向上に努めてまいります。また、日々の支援を振り返る機会を設け、不適切な関わりが生じないよう組織全体で意識を高めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		やむを得ず身体拘束が必要となる場合については、校として判断基準を明確にし、事前に保護者様へ十分な説明を行い、同意を得た上で個別支援計画に記載いたします。あわせて、身体拘束に至らない支援方法を常に検討し、未然防止に努めてまいります。